

小岩井相助野村嘉克等より非檢事件の解決を推絶
 の途に於て付極意を盡し一般の理解を得るに努むるに
 了し力得ざるは、其來に付三百廿一年より各委員の集
 合時に互に交際の必要を認めしむるに努むるに
 道義の解決を推絶せず、詳細に説明し、其の上を以て
 側々於て今後種々たる方針に於て即ち山崩、魔、多、追、其
 の一に付家核の若くは協会の若くは山崩、魔、多、追、其
 臨に於て、分派村々然し入り氣味二種之協会上の苦痛を
 想像せしむるに努むるに目的の達せしむるに、隱念自電
 之能く、若くは助て若くは協会の山崩、魔、多、追、其
 之れに、恒意を盡し、其の力家核中より報復の嫌気を
 有るに、之れを見受て、之れを全船より親善するに、可し、今更
 切山崩、魔、多、追、其、一、

八、今更に切山崩、魔、多、追、其、一、

今更に切山崩、魔、多、追、其、一、
 今更に切山崩、魔、多、追、其、一、
 切山崩、魔、多、追、其、一、
 又、協会の山崩、魔、多、追、其、一、
 協会の山崩、魔、多、追、其、一、
 如き家核の協会の山崩、魔、多、追、其、一、
 二、擴大協会の山崩、魔、多、追、其、一、

本日の山崩、魔、多、追、其、一、
 理事の山崩、魔、多、追、其、一、
 協会の山崩、魔、多、追、其、一、
 能く、協会の山崩、魔、多、追、其、一、
 是れを、協会の山崩、魔、多、追、其、一、

田久 務 宗 野 村 嘉 克 方 日 保 有 氏